



みよし

令和4年 1月20日

文責 久保島 修

一陽来復（いちようらいふく）～寅年を飛躍の年に～

新しい年、壬寅（みずのえとら）年を迎えました。皆様お健やかに新春をお迎えることと存じます。

私の今年の年賀状には、「謹賀新年」などではなく、「一陽来復」を用いました。令和3年も、新型コロナウイルス感染症拡大や、豪雨による激甚災害など、心の重い一年でした。「一陽来復」とは、「冬が終わって春が来ること」、「悪いことが続いた後で幸運に向かうこと」の意味があります。

さて、今年（令和4年）は「寅年」です。そこで、学校だより「みよし」1月号の巻頭言は、トラにまつわるお話をしたいと思います。

「寅」の漢字の成り立ちについて、矢の曲がりやを両手でまっすぐに伸ばす様子を表した、という説があります。「曲がりやを直し、まっすぐに伸ばす」という意味となります。また、中国の『漢書』では、「寅」は「草木が伸び始める状態」を表すとされているそうです。子年に命が種の中で芽生え、丑年には種の中で育ち、寅年になって、根や茎が成長を始める時期とされているそうです。寅年の今年、その名のとおり、希望の春が来てほしいものです。

中国の『史記』の「伯夷列伝（はくいれつでん）第一」には、「雲従龍 風従虎」という一説があるそうです。日本では、「雲は竜に従い、風は虎に従う」と言われ、「立派な君主の元には優れた臣下が現れる」ことの例えに使われます。風さえもつかさどることのできる虎、コロナ退散・収束の風を吹かせてほしいものです。

きっと、春は来ます。感染拡大防止のため、日々、最前線に立って御尽力されている医療関係者の方々、日常を支える業務に携わられているの方々などへの思いを忘れず、できることを続けていきたいものです。

学校では、令和3年度のまとめとなる学校生活が始まります。残りわずかとなった今年度の日一日を大切に、価値ある体験を積み、大きく飛躍してほしいと願っています。学校でも職員一同力を合わせ、子供たちの指導に当たってまいりますので、学校と家庭、地域が共に手を携え、子供たちを健やかに、しなやかに育てる“Team谷二小”への御理解と御協力をお願いいたします。



◎「今年はバレーで(^_^)」日本航空高校バレー部の活躍に思うこと！

1月9日（日）『第74回全日本高校選手権（春高バレー）』の決勝が行われました。きっとテレビで観戦した人も多かったと思います。

決勝は山梨県代表の日本航空高校と熊本県代表の鎮西高校との対戦でした。夏の全国高校総体（インターハイ）王者の優勝候補の鎮西高校に対して、日本航空高校は優勝を期待されたチームではなかったのですが、勝つことに向かってそれぞれの選手が役割を果たすことによってフルセットの激戦の末、見事優勝しました。1月10日付けの『山梨日日新聞』では、日本航空高校は関東大会を制して「東の強豪」として臨んだ6月のインターハイの県予選には、校内で新型コロナウイルスのクラスター（集団感染）が発生して県予選前日に辞退が決まるという苦しい思いをしました。でも選手たちは「ぜったいに春高で勝つ」という強い思いで大会に臨みました。このときの思いが「最後まで諦めず、自分たちのバレーを信じて1試合、1セット、1点ずつ…」の気持ちとなり優勝へとつながったそうです。最後まであきらめずに、一つのことに向かって仲間を信じ、がんばる事のすばらしさを改めて感じました。



余談になりますが……。私の息子も高校時代バレー部に所属していて数回、日本航空高校と試合をしています。（1セットも取れず、全試合惨敗でしたが）私も何回か日本航空高校との試合を観戦しましたが、「強いこと」はもちろん、すべての部員が①大きな声で挨拶ができる②味方が失敗しても決して責めない③身だしなみが整っている（荷物の置き方、ユニホームの着方）そして、何よりも素晴らしかったことは、練習中も試合中もコートの中では、選手一人一人が自分で考え行動することができていました。息子曰く「まったく勝てる気がしなかった…(;><)」でした。すでに、『王者の風格』がそこにはありました。

☆校長雑感☆

学年のまとめでもある今学期は、子供たちに失敗を必要以上に恐れず、いろいろなことに「トライ」させ、伸ばしていきたいと考えております。（「結果を気にせずやってみよう」）

自信のないこと、初めて経験することには、心配や不安な気持ち（ネガティブな心理）になることは誰にでもあります。しかし、そのネガティブな心理にもポジティブなパワーはあるのです。

ある心理学実験では、以下のような5つの効果があることが実証されております。

- 1 記憶をよくする
- 2 対人認知の正確さをもたらす
- 3 モチベーションを高める
- 4 対人関係をよくする
- 5 説得力を高める

例えば、ポジティブな気分の際は、気が大きくなって、つい慎重さの欠ける判断をしやすいが、ネガティブの時には、かえって慎重になり、その慎重さが周囲に注意を払い、じっくり観察するという姿勢を促すため、見たり聞いたりした出来事をよく覚えていたり、周囲の情景をよく思い出せたり、相手をしっかりと観察して判断したりできるようになるそうです。

また、物事がうまく進んだり、賞賛されたりして、得意な気持ちになっている時は、つい気が緩んで手を抜いたりしがちですが、ピンチの時は必死にならざるを得ない。得意な気持ちでいる時は、つい自己中心的になりがちで、他者を軽んじるような態度をとる人も見られます。このように、ネガティブ心理がポジティブパワーとなって、トライするためのモチベーションを高めたり、粘り強さをもたせたりするという「よさ(効果)」もあるそうです。ですから、私たち教師や親は、たとえ失敗しても前向きに受け止めさせるための言葉を用意しておく必要があります。

「誰だって失敗することはあるよ(先生だって)」

「私も小学生の時、〇〇して失敗したなあ…、あっはっは」

「失敗(挫折)を経験することで、人は強く、優しくなっていくんだよ。いい経験したね」

「結果がすべてじゃないよ。がんばることで力をつけていくことが大事なんだよ」

「がんばった時の爽快感は、(あなたにとって)かけがえのないものなんだよ」

「どう頑張れば次はうまくいくか、先生と一緒に考えようね」

子供たちを思う気持ちを皆様同様、強く持ち、よりよく成長させるよう教育活動を進めていきます。

~~~~~ 学校生活の様子より ~~~~~

### ★3学期始業式（1月13日）



1月13日（木）に3学期の始業式を感染予防のためリモートで行いました。

19日間の有意義な冬休みを過ごし、全校児童が元気に登校してきました。

一日一日を大切に、学習面・生活面共に、次の一つ上の学年に向けて、前進してほしいと思います。新年を迎えた頃から、新型コロナウイルス（オミクロン株）が猛威を振るっています。①マスクをすること。②石鹸を使ってしっかり手を洗うこと。③密集しないこと。④食事は前を向いて静かに食べること。をみんなできをつけて、3学期も新型コロナウイルスや感染症を吹き飛ばしていきましょう！

### ★書きぞめ大会（1月14日）



1月14日（金）に「書きぞめ大会」を実施しました。

子供たちは2学期の後半から練習を始め、冬休みにも一生懸命に練習し、今日はその成果を発揮する大会でした。課題は、1年生：硬筆「ほし」、2年生：硬筆「きぼう」、3年生：毛筆「くに」、4年生：毛筆「青天」、5年生：毛筆「美しい花」、6年生：毛筆「春待つ心」です。

どの学年の児童も集中して頑張ったので、良い作品がたくさん仕上がりました!(^)!。

### ☆お知らせとお願い☆

本校では、2月に次年度の児童会役員と5年生が中心となって、『6年生を送る会』が行われています。この日は、学校開放日として保護者や地域の皆様に参観を呼びかけていましたが、今年も昨年同様に、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校開放日とはせず、児童と職員のみのお会といたします。参観を楽しみにしていた保護者、地域の皆様におかれましては、何とぞ感染症予防の趣旨を御理解いただき、御協力をお願いいたします。

### 【新型コロナウイルス感染症に関するお願い】（繰り返しのお願いとなりますがく( )>）

- 1 児童と家族の健康観察（チェックカードへの記録・提出）を忘れずをお願いします。
- 2 体調が悪い場合は無理せず登校させないでください。
- 3 家族に体調不良者がいる場合には、児童が登校する前に必ず学校に相談してください。
- 4 学校からのお便りをお願いした通り、児童本人又は、同居の御家族等が新型コロナウイルス陽性と確認された場合や、濃厚接触者として抗原定性検査やPCR検査等を受ける場合は、必ず学校に御連絡をお願いいたします。（谷村第二小学校Tel43-2335）